

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
 担当課長名：東 智徳

事業名	としけいかくどうろ 都市計画道路3・3・1鹿沼宇都宮線（下栗町）	事業区分	街路	事業主体	栃木県
起終点	自：栃木県宇都宮市下栗町 至：栃木県宇都宮市下栗町	延長	1.32km		

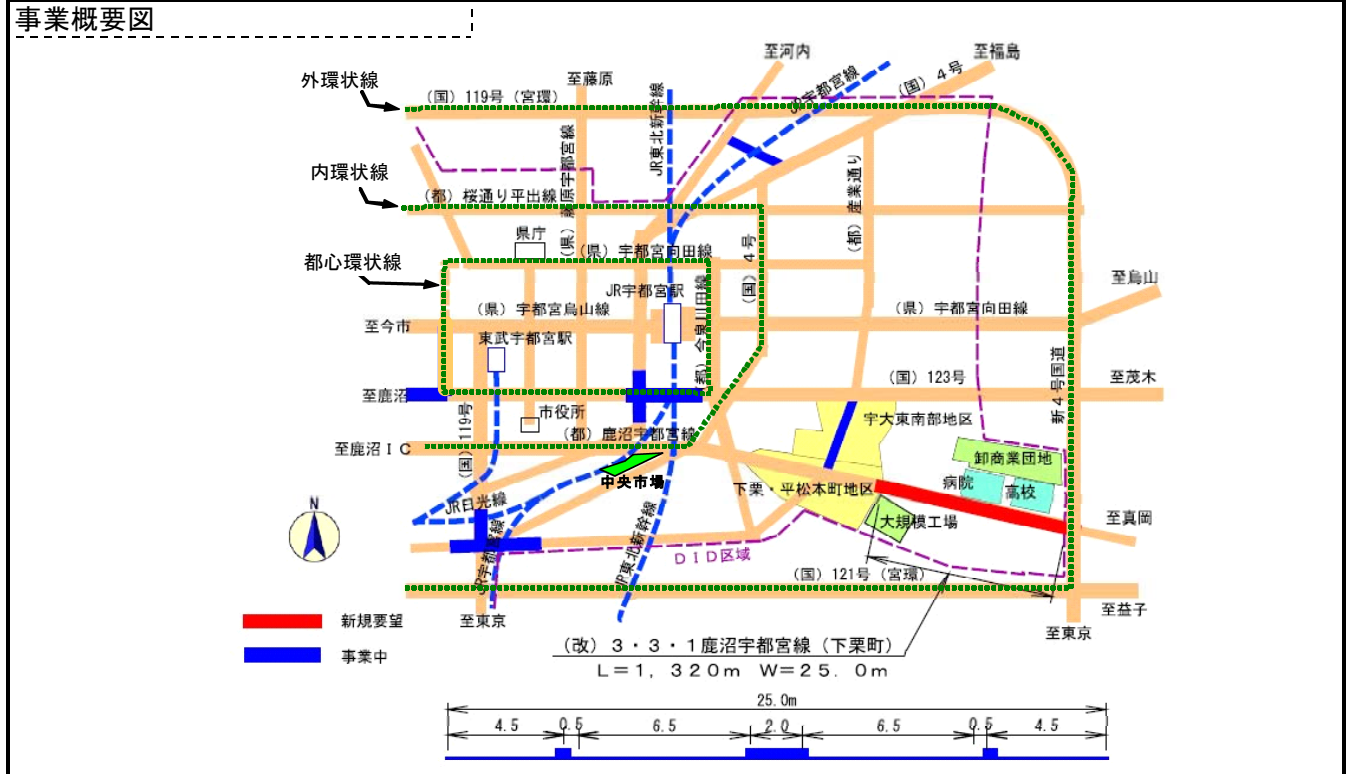
事業概要
 本路線は、JR宇都宮駅等の宇都宮市中心部から国道4号を経て国道4号バイパスへ伸びる放射道路であり、宇都宮都市圏都市交通マスタープランで位置付けられている内環状線から外環状線（国道4号バイパス）及び国道121号を結ぶ、都市の骨格を形成する重要な路線である。

事業の目的、必要性
 本路線の近隣には卸売団地や中央市場、高校等があり、朝夕を中心に交通量が多いが、本要望区間は幅員狭小で歩道未整備である唯一の区間であることから、慢性的な交通渋滞が発生し、安全で円滑な交通の妨げとなっている。このことから、交通渋滞解消及び中心部へのアクセス強化を図るとともに、本地区の安全で良好な市街地形成を促進するため本区間の整備を実施する。

全体事業費	42億円		計画交通量	24,000台/日	
費用便益分析結果	B/C	3.4	総費用	36.4億円	
			（事業費：35.6億円 維持管理費：0.8億円）	総便益	124.1億円
			（走行時間短縮便益：104.1億円 走行費用減少便益：14.6億円 交通事故減少便益：5.4億円）	基準年	平成16年

- 事業の効果等**
- ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善等）
 - ・都市再生（区画整理等の沿道のまちづくりとの連携等）
 - ・安全な生活環境の確保（歩道の設置）
 - ・災害への備え（緊急輸送道路（2次）の位置付けあり）

関係する地方公共団体等の意見
 本路線の整備は、市街地の交通混雑解消と秩序ある発展に資するものと期待されており、宇都宮市から早期整備の要望（H16.10.22）を受けているほか、多くの団体等から同様の要望を受けている。



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。